



資料 4

- ◎ 現行プランの取組状況
（重点戦略 戦略5 健康・医療・福祉
戦略における主な取組状況と成果（令和
4～6年度））
- ◎ 令和7年度 健康福祉部の主要な施策

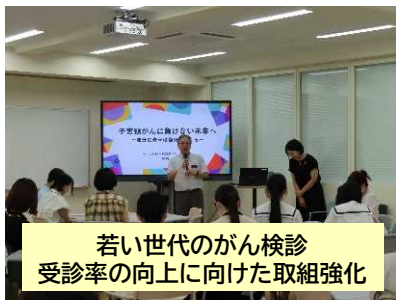
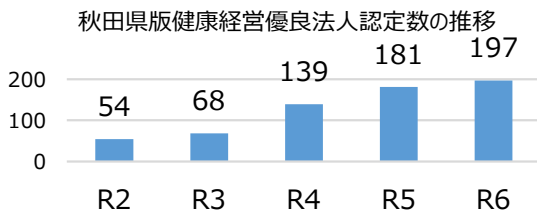


戦略5 健康・医療・福祉戦略の主な取組と成果（R4～R6年度）

① 健康寿命の延伸に向け、県民・企業と一体となった取組の推進（目指す姿1）



- ・300を超える「秋田県健康づくり県民運動推進協議会員」との連携による県民運動を展開
- ・197法人が「秋田県版健康経営優良法人」の認定を受けるなど、健康づくりに対する社会的気運が向上



若い世代のがん検診
受診率の向上に向けた取組強化



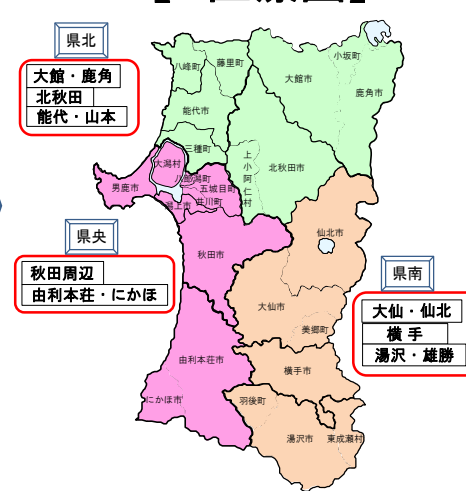
「子ども健康会議」による
健康的な生活習慣の定着促進

② 人口減少時代を見据えた質の高い医療提供体制の構築（目指す姿2）

【8医療圏】



【3医療圏】

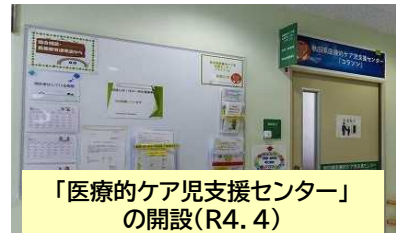


将来にわたって質の高い医療を提供し続ける
ため、二次医療圏を「8」から「3」へ再編（R6.4）

③ 高齢者と障害者の地域での生活を支える支援体制の充実・強化（目指す姿3）



ICTや介護ロボット等の介護
テクノロジー導入による生産性向上を図る取組



「医療的ケア児支援センター」
の開設（R4.4）

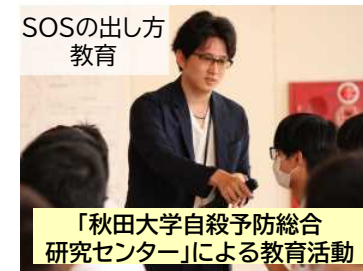


オレンジ大使による
地域における認知症理解の促進

④ 複雑化・多様化する福祉ニーズに対応した支援体制の充実（目指す姿4）



複合的な事案に対応する「子ども・
女性・障害者相談センター」の開設（R5.4）



SOSの出し方
教育

「秋田大学自殺予防総合
研究センター」による教育活動



ケアラー支援の充実



戦略5 健康・医療・福祉戦略の主な課題と対応方針

目指す姿1 健康寿命日本一の実現

課題

- 健康に関して関心の薄い層や育児・仕事で健康づくりに取り組む余裕のない働き盛り世代において、意識改革や行動変容につながっていない。
- コロナ禍やライフスタイルの変化等により、県民(20歳以上)の歩数が大きく減少している(H28:5,713歩→R4:4,652歩)。
- コロナ禍により落ち込んだがん検診受診率(胃・大腸・肺・子宮頸・乳)は、一部を除き改善傾向にあるが、コロナ禍前の水準には戻っていない。

対応方針

- 働き盛り世代の健康づくりを推進するため、「秋田県版健康経営優良法人認定制度」の拡大を通じた健康経営の考え方の普及を図るとともに、子ども健康会議の開催などにより、県民のヘルスリテラシーの向上を進める。
- アプリを活用したチーム対抗型のウォーキングイベントを開催するなど、気軽に取り組める運動機会を提供することにより、県民の運動習慣の定着を促進する。
- 健(検)診予約システムの未導入市町村に対してシステムの導入を働きかけるなど、受診しやすい環境整備を進めるとともに、かかりつけ医等による受診勧奨などを通じて、健(検)診の受診促進を図る。

目指す姿2 安心で質の高い医療の提供

課題

- 修学資金貸与を受けた医師で、地域の医療機関で働く者は徐々に増えてきているが、医師不足や地域偏在の解消には至っていない。
- 広大な県土を有する本県において、人口減少に伴う患者の減少や医療ニーズの変化が進む中、質の高い医療を持続的に提供できる体制の構築が必要である。
- 新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、県民の健康に重大な影響を与える感染症の発生に備えるため、病床・外来医療、検査体制の強化等が求められる。

対応方針

- 国による「医師偏在の是正に向けた総合的な対策パッケージ」に係る取組を推進するとともに、「秋田県医師確保計画」に基づき、秋田大学や県医師会等と連携しながら、医師不足や地域偏在の解消に向けた施策を着実に推進する。
- より広域的な枠組みにおける役割分担や連携のあり方について、医療機関等との協議を進めるとともに、在宅医療推進センターと訪問看護総合支援センター等を活用し、県内の在宅医療提供体制の充実を図る。
- 秋田大学の「感染統括制御・疫学・分子病態研究センター」と連携しながら、「秋田県感染症予防計画」に基づき、今後の感染症危機に備えた医療提供体制の整備や人材育成などの感染症対策の強化を図る。



戦略5 健康・医療・福祉戦略の主な課題と対応方針

目指す姿3 高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化

課題

- ・ 高齢化率の上昇と生産年齢人口の減少により介護人材の需給ギャップが広がり、介護職員の不足が今後更に進行することが想定される。
- ・ 認知症の方が増えることが見込まれる中、支援する体制の強化が求められている一方、その中心となる「チームオレンジ」の設置が7市町村に止まっている。
- ・ 障害への正しい知識と理解を持つ専門サポーターの養成にあたって、サポーターが未設置の地域がある。

対応方針

- ・ 介護・福祉の職場のイメージアップを図りつつ、若者や中高年、外国人を含む多様な人材の新規参入の促進、ICTや介護ロボット等の介護テクノロジー導入による生産性の向上など、ハード・ソフト両面からの幅広い対策を推進する。
- ・ 「チームオレンジ」の立ち上げ等を担うオレンジコーディネーター研修について、未受講の市町村に受講を積極的に働きかけるなど、チーム数の増加・底上げにつなげるための支援体制を強化する。
- ・ サポーター養成に必要な講師を養成する研修機会を確保するため、全市町村へ広く呼びかけを行うとともに、場所や移動の負担なく受講できる環境を整えていくなど、サポーター未設置地域の解消を目指す。

目指す姿4 誰もが安全・安心を実現できる地域共生社会の実現

課題

- ・ 市町村の包括的支援体制は、行政や社協のみならず、民生委員等の地域での見守り活動を担う人材も必要であるが、その確保は十分とは言えない。
- ・ 令和6年の自殺者数は対前年に比べ若干増加しており、死亡率は全国ワーストを脱却したものの、依然として高い状況が続いている。
- ・ ケアラーへの県民理解が十分とは言えないほか、ケアラー自身の認識不足がある。

対応方針

- ・ 市町村等を対象とした包括的相談支援体制整備に係る研修を開催するほか、担い手確保に向け、民生委員、施設関係者やNPO法人等向けの研修等も開催するなど、地域で受け止める体制づくりを推進する。
- ・ 自殺に至る様々な要因を把握・分析をする「秋田大学自殺予防総合研究センター」が行う調査結果を民間団体・行政・報道とも共有を図り、関係団体と連携したSNS等による相談対応などの支援に取り組む。
- ・ ヤングケアラーを含む、家族介護者が相談しやすい環境づくりに向け、SNSを活用した相談窓口の設置やセミナーの開催等によりケアラーの認知度を高めるほか、関係機関と連携を図りながら、地域全体で支える体制を構築する。



令和7年度 健康福祉部の主要な施策について

○ 目指す姿1：健康寿命日本一の実現

1. 健康づくり県民運動の推進

- ・ 秋田県版の健康経営優良法人の拡大による健康経営の普及
- ・ 子ども健康会議を中心とした県民のヘルスリテラシーの向上に向けた学習・体験の機会等の充実

2. 生活習慣の改善に向けた意識改革と行動変容の促進

- ・ データに基づく休養を中心とした健康づくりに関する情報発信

3. 特定健診・がん検診の受診の促進

- ・ がん検診受診料の無料化または軽減に取り組む市町村への支援

4. 高齢者の健康維持と生きがいづくり

- ・ 研修会の開催等による、フレイル予防やオーラルフレイル予防の指導を担う人材の育成

○ 目指す姿2：安心で質の高い医療の提供

1. 医療を支える人材の育成・確保

- ・ 看護職員の修学資金に係る返還免除となる対象の拡大
- ・ 県内外における看護系大学生の県内就職の促進に向けた情報発信
- ・ 若手医師のキャリア形成に向けた取組への支援
- ・ 勤務医の労働時間短縮に取り組む医療機関への支援

2. 地域医療の提供体制の整備

- ・ 県立病院機構における医療コンサルティング導入への支援
- ・ 地域医療連携推進法人の設立等に向けた支援
- ・ 医師不足地域での診療所の承継や開業に対する支援
- ・ 災害医療・在宅医療などの政策医療の推進

3. 総合的ながん対策・循環器病対策の推進

- ・ がん拠点病院等への緩和ケア及びがんゲノム医療に関する医師の派遣等に係る支援

4. 広大な県土に対応した三次医療機能の整備

- ・ ドクターヘリの運航支援等による救急医療体制の確保

5. 新興感染症等に対応できる医療提供体制の確保

- ・ 新興感染症に対応した医療提供体制の整備等



令和7年度 健康福祉部の主要な施策について

○ 目指す姿3：高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化

1. 介護・福祉人材の確保・育成と労働環境の改善の促進

- ・ 介護サービス事業所の生産性向上・処遇改善・経営改善等への支援
- ・ 介護職のイメージアップ
- ・ 外国人材の受入れ拡大に向けた支援と受入体制の整備

2. 介護・福祉基盤の整備

3. 医療・介護・福祉の連携の促進

4. 高齢者の自立支援と介護予防・重度化防止の推進

5. 認知症の人と家族を地域で支える体制づくり

- ・ 認知症の早期発見・早期対応に向けた体制づくりへの支援
- ・ 認知症施策推進計画の策定

6. 障害者の地域生活と社会参加に向けた環境づくり

- ・ 障害への県民理解の促進に向けた普及啓発等
- ・ 障害児・者施設整備への支援
- ・ 関係機関と連携した医療的ケア児への支援

○ 目指す姿4：誰もが安全・安心を実感できる地域共生社会の実現

1. 包括的な相談支援体制の整備

- ・ 多様化する地域課題に対応可能な重層的支援体制の整備
- ・ 秋田県災害福祉支援センターの活動に対する支援

2. 総合的な自殺予防対策の推進

- ・ 「民・学・官・報」の連携によるエビデンスに基づいた対策

3. 児童虐待防止対策と里親委託の推進

- ・ こどもの権利擁護に係る支援
- ・ 里親支援センターの設置

4. こどもの貧困対策の推進と生活困窮者の自立に向けた支援

- ・ こども食堂等の居場所づくりや生活支援に取り組む団体への立ち上げ支援

5. ひきこもり状態にある人を支える体制づくり

- ・ ひきこもり当事者や家族等に対する支援ニーズ調査の実施

6. 多様な困難を抱える人への支援

- ・ 漫画を活用したヤングケアラーの支援・普及啓発



令和7年度 健康福祉部の主要な施策について

○ 目指す姿2：結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現

3. 安心して出産できる環境づくり

- ・ 遠方の分娩施設での出産への支援、産後ケアの充実
- ・ 不妊治療への支援

4. 安心して子育てできる体制の充実

- ・ 福祉医療費への助成